

令和6年度 第2回江別市行政改革推進委員会 会議録（要点筆記）

日 時：令和6年10月31日（木） 13：30～14：10

場 所：江別市民会館 会議室21号

出席委員：千里政文委員長、福沢康弘委員、西懸昭子委員、鈴木貢委員、亀田教子委員、
野澤瞭太委員（計6名）

欠席委員：吉川哲生委員、野村奈津子委員、富田京子委員、小野秀司委員

事務局：企画政策部 三上部長、伊藤次長

政策推進課 嶋中課長、但馬参事、川村主査、北島主査

傍聴者：なし

会議概要

1 開会

2 議事

（1）江別市行政改革推進計画の取組状況（令和5年度）について

事務局から資料に基づき説明

- ・江別市行政改革推進計画（平成31年度～令和5年度）（資料1）
- ・江別市行政改革推進計画の取組状況一覧（令和5年度）（資料2）
- ・江別市行政改革推進計画の取組状況（令和5年度）（資料3）
- ・江別市行政改革大綱（平成26年度改定）（参考資料）

【質疑】

○福沢委員

資料1の1ページについて、表の右側にある矢印は何を表しているのか。

○事務局

目標にある矢印であるが、上向きになっているものは向上を目指すものであり、基本目標3の連結実質赤字比率のように横向きになっているものは維持を目標としているものである。

○福沢委員

目標の方向性を示すものということで理解した。

次に、資料2を見ると、SNS等のフォロワー数やふるさと納税収納額など外に向けた事業はかなり成果を上げていると思うが、コミュニケーションが良好で風通しの良い組織だと思う職員割合や職員提案数など内部に向けた指標の数値が低い結果となっている。今回は、令和5年度までを期間とする計画の実績報告となるが、令和6年度から始まった新たな行政改革推進計画においては、組織の中における改革が重要になってくると思われることから、我々もその辺を重点的に見ていきたい。

○千里委員長

委員の指摘のとおり、SNS等のフォロワー数は大幅に増加している。

職員提案数については、私もなぜ減ったのかと感じている。すべてを新型コロナウイルス感染症の影響とすることはできないが、これからが勝負であり、今後、本来の正しい数値として表れてくるものと思っている。ほかにも新庁舎の建設にかかわる取組が含まれていたが、新庁舎ができるまで何もしないということではなく、できることから進めていただきたい。

ほかに、職員の訓練参加率も目標値に届かなかったが、資料にも記載されているとおり、医療職を除いた訓練参加率は高い数値となっている。医療職の方々は、もともと防災に対する意識が高いと思われ、新型コロナウイルス感染症の流行時は大変な状況であったと思う。ただ、計画策定時に対象から医療職を除くなど指標の取り方についてもう少し考えても良かったかもしれない。

ほかにあるか。（なし）

（２）第７次総合計画期間における行政評価外部評価について

事務局から資料に基づき説明

- ・第７次総合計画期間における行政評価外部評価について（資料４－１）
- ・令和７年度行政評価外部評価対象事業（案）（資料４－２）
- ・行政評価外部評価報告書（参考資料）

【質疑】

○福沢委員

資料４－２について、令和７年度に実施する行政評価外部評価の対象となる３事業を選んだ理由を伺う。

○事務局

まず、令和３年度にヒアリングの対象とした事業は除外している。また、（１）の地域子育て拠点事業のように施設の運営費に対して支出する事業や、（３）の放課後児童クラブ運営費補助金のような補助事業は市の裁量がほとんどなく、評価内容を事業に反映させることが難しいことから除いている。それらを踏まえた残りの事業のうち、総合計画の中で令和６年度に重点的に取り組むこととしている事業に対しPDCAサイクルを効果的に行えるような評価をしていただきたいということから３事業を選定した。

○千里委員長

ほかにあるか。（なし）

令和７年度から外部評価を実施することとなるが、事務局から提案された３事業について実施するというところでよろしいか。（了）

3 その他

なし

4 閉会